

栄八通信

武雄市議会だより

(Web版) 始めました

http://ei-8.info/

第56号

H26年(1)4710月発行



武雄市議会議員 宮本栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

新庁舎建設問題

これまでと、これから

すでに、新聞等で、新庁舎の移転場所については、ご存知と思う。場所は、JAみどりの元武雄支所の周辺との決定がされた。

具体的には、周辺と言ふものの現実的には、JA支所跡と、JA斎場の場所を想定していると思われる。今後の問題としては、現在、事業をされているJA斎場の動向で、同じJA関係だが、佐賀みどり農協でなく、別組織との事で、そことの交渉しだいで、状況が変る事や、改築時期が、ずれ込むことも考えられる。議員としては、交渉を見守るしかない。

一方、新庁舎については、市長が議会の意見を尊重するとの方針だったが、実際は、H24年の7月に①補強改修 ②現地建替え ③移転建替えの3案が示された後は、25年11月まで、ほとんど説明はなかった。その理由は、私が以前言っていた、合併特例の半分以上は、新庁舎分の資金がないとの問題を解決する為か、合併特例債の全額活用による、財政計画の変更や、それに伴う、新市建設計画の見直しをしていくとの説明。

ただ、一方、私には、市の提案以前から、市民の方数人から、「JAの所に市役所が移転するのですか？」とたずねられていた。内部的には、下交渉が、ある程度進められていたのではと思う。

11月22日の、約1年ぶりに、開かれた庁舎問題の特別委員会(全議員)で、3案の①投資費用と、②施工中の課題を記したA41枚の簡単なプリントが配布されたが、その比較表の、「建設地とまち

庁舎案比較表

	① 補強改修	② 現地新築	③ 移転新築
耐用年数残	13年	60年	60年
事業費	22億円	30億円	31億円 (土地5億円を含む)
事業費/耐用年	1億7,138万円	5,110万円	5,301万円

※③移転新築は旧庁舎解体費7600万円は含まれず一部活用も考えているような話

小中学生の通院 医療費4月無料化

今議会、これまでの、小中学生の入院費の自己負担の無料化に加え、①通院費と薬局費についても無料化する条例改正があった。実施は、H26年4月1日からなのでお間違いなく。また、1病院につき、10000円の負担は、これまでと同様にあり、無料化と言ふより、「千円医療化」と言い変えた方が、解りやすいかも。県内では、大町町や嬉野市、多

競輪事業の変化

競輪事業の正式には、「武雄市自転車競争実施条例」の一部改正(使用競輪場)の3条に、武雄競輪場に加え、他の競輪場でも開催する内容に変更した。

その意図するねらいは、武雄競輪が施行する、レースは、年1回の記念競輪(GⅢ)とS級といつて有力選手のレースは、収益が上がるが、通常のレースは、売上げが少なく、経費との収支で、赤字

今議会、委員会に関する条例が改正された。これは、議会の常任委員会の数や、そこに配分する人数を定めるもの。現在は、26名の議員を割り当ててあるが、4月の選挙後に、定数が24名になる為、図の様な4委員会6名づつにする改正。6名中、1名が、委員長になるので、5名中、3名を取れば、賛否が逆転する可能性もあり少しは変化があるかもしれない。

だいたい、1委員会6名は必要とも思われる。さらに、議員を削減するには、鳥栖市議会は22名を3委員会にして7、8の委員。だから、私は3委員会×6名の、定数18までは、削減は可能ではないかとも思っている。

年度	25	26
総務	7	6
産経	6	6
福文	7	6
建設	6	6

私の提案 中学校タブレット

小学校のタブレット導入については、12月予算が付いていたので、事前審査の関係で、一般質問できない為に、中学校分を提案したが、その内容は、

- ① もち上がり利用
- ② キーボード付きタブレット
- ③ タブレット払い下げ

反転学習の内容

市内小学生、全員に配付するタブレットパソコンの予算、1億2600万円の予算が通り、1月中旬に機種や業者が決定し、H26年4月より利用開始する。

一方、現在、山内東小・武内小にはアップル社のiPadが、4年生以上に配置してある(240台)。しかし、プロポージャー(提案人札)で、どの機種が選定されるのか判らないので、その分も予算化してある。

もし不用になれば、何か活用策を考えて有効利用する必要が有る。また、インターネットを取る無線LANは、9月に予算が4、200万円付き、現在工事中で3月中旬に終了する予定。

反転学習の内容

反転学習とは、授業の前半に動画を、7、10分程度にまとめた画像を前日にタブレットを持ち帰り学習するもの。(画像学習) だが、課題は、算数と理科の2科目で、週に2日程度との説明。

一方、私が、今回のタブレット導入に期待するのは、貧富の差なく平等に子供が情報を取る機会を得る事である。しかし、最近の話では、家庭のインターネットには接続できず、自主的に調べ学習ができないとのことで残念。

一方、私が、今回のタブレット導入に期待するのは、貧富の差なく平等に子供が情報を取る機会を得る事である。しかし、最近の話では、家庭のインターネットには接続できず、自主的に調べ学習ができないとのことで残念。

今回、着任された、代田教育監は、実に誠実な対応で、「まず導入それから、拡充」と度々言われているので、学校や保護者や市民の意見を反映させてもらえる、期待感はある。

て管理する事や、学年間での生徒数の変化に対応できるため。 ②は、県立高校の導入がキーボード付き、となっている事や、現在パソコン室のデスクトップの更新費用の二重投資の削減。 ③は、パソコンの耐用年数が4年なので、残存価格で生徒に払い下げ、高校等で利用し、保護者の負担軽減等を提案。

水道料金・下水道料金 「ダブルパンチ」で良いのか?

以前、市長は、水道料金等が県内一の高料金であり、それから脱却するとして、幾分低減されたが、それでも、多久市に次いで2番目に高かった。

私は、多久市というのは、特別な理由があり、それは、県西部に佐賀市の嘉瀬川の水を、久保田で浄水して送水する、西部広域水道に加入せず、途中参加したため、過去の支払分や割増分を払っている為、料金が高いのは当然で、実質的な意味では、武雄市が、県内で、実質、一番の高料金であると指摘し料金を言ってきた。

ところが、その多久市が、25年度より、料金値下げをして、名実共に、武雄市が、県内で、高料金1位にもどっていることを知ってビックリ、そこで、再度値下げを提案。

水道部長の答弁は、県内市では1位の高料金だが、県内の町レベルまでの中では、1位ではないとの主旨の答え。たしかに、2町は高い所がある。ただ、全国的な統計やランキングは、人口規模の少ない所は、割高になる為3万人以上や5万人以上など経営規模ごとにランキングされていて格下のステージと比較して高くないとの考えには、市民サービスに対する根本的な見方の違いを感じる。

一方、市長は、順位の間料金差は少ないとし、次の選挙公約で料金値下げを打ち出すような話だが、料金差が少ないと思ふなら、すぐ最高値にならない様に、中位まで、下げる内容にして欲しい。

一方、現在の、武雄市水道事業の経営の状況は、合併による人件費の削減や、旧武雄市時代の、利益積立金が約15億円あったが、これを、高利子の借入金の上上げ返済に入れた事もあって、黒字を出している。もともと、この返済に利用した、15億円は、国の高料金対策の交付金として、旧武雄市の水道料金を下げる為に来たもので

それを使わずに来たのは、西部広水の工事負担金の増大にそなえるとしたが、完成規模を水あまりも予測して80%程度に縮小させた事や多久市を加入させた事で出費が抑えられた事。また、この金を湖ノ尾浄水場建替えに使わなかった事が、現在の黒字化の要因。だから、この黒字化の源資は、国の高料金交付金であり、黒字分は市民の水道料金の値下げに利用されなければ、市民への背信。

下水道について

下水道料金については、町まで含めると、県内一の高料金の状態。これは、農排と公共下水道(戸別浄化槽)の統一料金にした時に高料金になっていて、やはり、私が以前に言っていた様に、農排料金に統一すべきだったと思う。

当時、施設の維持管理費を原則受益者に負担してもらおうとの方針も示されたが、それは私も求める所だが、しかし、くみ取りは、処理場の運転費など負担はないし、下水道処理場は新処理槽が完成すると管理費が変化するなど、料金に反映が困難。だから、下水道料金は、一定の公共料金として他市並にして、後は、その負担を合理化や経営改革で解決へ努力すべき。

なにも、上水・下水道高料金のダブルパンチを解消が政治の役目では。

上下水道料金ランキング

	武雄市	全国
上水道	1455	(1650)
下水道	1320	(1392)
TOTAL	1331	(1387)

武雄市の水害対策

「調整池」の前に「遊水地」を

武雄市の解決すべき課題として六角川の水害問題がある。

以前は、「高橋のつからんぎ、梅雨の明けん」と言われていた。しかし、高橋排水機場のポンプ設置によって、それは解消され、現在は、南部の橋町方面が冠水。対策として、国は、六角川の堤防のかさ上げや引堤(広げる)を整備して来た。一方、市は、国会議員に陳状などして、結果、排水ポンプの設置がされ、その後、それを動かす為の、移動電源車から常設電源へと整備も進んだ。

現在は、一応の整備が終わわり、今後30年間の整備方針が、H25年に出された。それには、樋渡市長の提案する、東川登町の採石場の石を掘出した穴に、洪水時に水を入れて、災害を減す「調整池」も。

ただ、問題なのは、採石場は現在も操業中で、土地所有者も多く早期の整備の見直しはない。また、国交省は、これ以上、ポンプアップしても、六角川自体がオーバードローする事や、下流域に被害が移るだけとして限界を示す。

里道の市道化

ようやく目の目を見た

市が整備する、市道は、原則、道幅4m以上で、その一方、それ以下の法定外の道路を「里道」といって、明治時代以来、国の大蔵省が所有していた。

H15年頃、財務省の、権限移譲の一貫で、市町村の所有となった。武雄市をはじめ、自治体は、急に所有道路が、急増し、自分の物になった半面どう管理・整備して行くのか、困惑している所もある。方針としては、小さい地域の道路として、区や地元で管理や修理をしている。

一方、旧武雄市の市街地は、昭和30年代、東西に住宅地が拡大し東の川良、甘久、西の西山・上西山に広がったが、道路が整備さ

今議会、他議員が、市内の総排出能力を変えず、被害の多い所の能力を上げるとの案は、一理ある。しかし、毎時当りの能力にかかわらず、量が六角川に排出できなければ、やはり水の行き先が問題。そこで、私の考えは、六角川は河口近くで、牛津川と合流する。この牛津川の洪水対策は、多久市にある、牟田辺遊水地という、通常は田だが、洪水の時は水を入れて遊水地にするもの。実際効果があつたとして、また牛津川遊水地の建設を計画している。そこで武雄市も、東川登の「調整池」に先行して水害の懸念のある北方橋下に遊水地も作ってほしいと思う。



れる前に、国道34号線やバイパスが南に移動して行き、もっぱら、道路整備は、南部地区が中心となり、東・西の住宅地は、里道や農道を利用することが多い状況。そこで、現実、地域の里道といながら、市道同様、それ以上に利用されている所は、地区区民の負担で維持管理するのは不合理なので、重要里道の市道化を、何度も提案して来たが、実現できず。ただ、今12月議会でも、他議員の質問で、私が、市道化を特に言っていた、甘久のトライアル横の里道や、上西山の公民館東側の里道が、市道化する様な答弁がされていて、あきらめずに、言い続けて良かったと思つた。

山内町・北方町のまちづくり

何ぞ取り組まない?

H24年4月に、山内町のほぼ全域、北方町の(六角川南部の橋下地区をのぞく)ほぼ全域が、都市計画区域に指定され、計画的開発(区画整備や街路事業等)が、国や県費の補助による事業が可能に。

しかし、何一つ進んでいない。その原因は、まずは、開発整備計画すらない事にある。そこで、その作成や、それ以前の考え方について問うが、まともな返答なし。一方、都市計画区域に入れば、家などを建てる時に、敷地の建坪である建ぺい率が、60%、2階建てなどの容積率が200%など制限を受けることや建物建築する時に、これまで、「着工届」を出すだけから、「建築確認申請」を出すさなければいけなくなり、約20万円ほどの市民負担の増加は始まっている。

だから、負担に対応したメリット、宅地開発や道路整備などが進めなければ、意味がない。もう何年も、基本計画を作るのは、支所か、都市計画課か、企画課がたずねるが、それすら不明。そこで、私は、方針を変えて、反対に、個別具体的な案件を指摘する事で、動かしたいと思つた。そこで、北方町については、合併時から、北方中央線を約1億円で整備する時、将来の優良宅地化を市が言っていたので、その実施を求めた。しかし動きはなく、ただ、昨年あつた、農振地見直しの中で、地元農業委員さんから、矛盾の指摘があり、ユートク裏から中央線までが農用地指定からはずされたので、開発の可能性が出た。

もう一つの具体的な矛盾は、武雄北方インター工業団地も、この60%と200%の一般住宅並みの制限を受ける。それでは、今の物流倉庫の需要に対応できず立地条件が悪い。北方町内の、西杵地区は一部は炭住の関係もあつてか、60の200が70の200に地区緩和している。であ

情報コーナー

- ①北方幼稚園の民営化についてはH27年度まで、先延ばしの模様。
- ②武雄小学校の学童保育は、御船小のような、独自施設は作らず、新体育館のホワイエを借用する方針で、6年までの拡大は考慮されなく、残念!
- ③武雄小、現校門からの車両乗り入れは、改築終了後は止め、桜町の工事用道路が、車の進入路へ。
- ④山内中学校の教室改築は現在の2棟建てから、3棟建てにして、駐車場の確保。玄関は2棟目に。
- ⑤武雄中学校は、武道場の差工へ以前より提案していた、「重箱堤」の埋立てで、テニスコート4面化や駐車場の確保が実現しそう。
- ⑥武雄中、新体育館建設で、提案していた、観客席や卓球場も整備される様な感触。

【訂正】55号シンガポール事業の家賃には、敷礼金を含んでいて月家賃は約41万円